

えりもしゃくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

～本年度全国学力・学習状況調査結果～ 小学校は、全教科で全道平均以上や全道平均 で大きな成果、中学校は国語で全道平均に近づ き、数学に大きな課題

- ・小学校では国語B、算数Bで全道平均以上、国語A、算数Aで全道平均となり、中学校では国語A・Bが全道平均に近づき、数学は全道平均との差が大きい結果となりました。
- ・領域で、小学校は、国語B「書くこと」、算数A「量と測定」、算数B「数と計算」「図形」で全国平均を上回りました。中学校は、国語A「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国平均を上回り、数学A「資料の活用」で全国平均となりました。
- ・一方、小学校では、国語B「話すこと・聞くこと」、算数A「図形」が全道平均を下回り、中学校では、数学Bの各領域で全国・全道平均を大きく下回りました。
- ・学習状況では、小・中とも、「板書で書かれた課題やまとめをノートにしっかりと取っている」回答は全国より上回りましたが、家庭学習の時間の不足や、携帯電話やスマートフォンの使用時間が多かったり、所持率が全国より高く、大きな課題となりました。

4年間の数値目標の達成を「基礎力Aが8割程度、応用力Bが5～6割程度」と掲げましたが、次のような結果となりました。

- ・全国学力・学習状況調査は、本年度で平成19年度から実施され10年目となります。
- ・裏面の「平均正答率の全国との差の推移」を見ると、小学校では、平成24年度以降、大きく上昇し、学力向上が見られました。
- ・中学校では、26年度から徐々に向上の傾向は見られる反面、課題も明確になりました。
- ・数値目標の達成では、8教科の中で、達成と概ね達成が3教科（小国Bと小算A、中国B）、あと一歩が3教科（小国Aと小算B、中国A）となり、未達成が2教科（中数学A、中数学B）という結果になりました。
- ・12月22日には、全教職員が集まって総括を行い、一層、「凡事徹底」と「家庭学習の充実」の取組を図ります。

～4年間のハード面の取組について～
ハード（教育環境の整備）では、
町全体の予算が厳しい中で町長部局の理解のもと、次のことに着手できました。

■学校教育関係

- ・校舎内禁煙、来客用駐車場表示、来客出迎え案内掲示、机天板幅拡大、えり高グランド改修、笛小暗幕取替、笛小砂場改修、庶小砂場改修、小学校鉄棒改修、教員住宅新築（3棟5戸）、岬小外壁・サッシ改修、岬小グランド一部補修、教師用パソコン（PC）入替、えり中バスケットゴール改修、えり中バックネット・外周フェンス改修、庶野小職員室ストーブ入替、笛舞小教室ストーブ更新 等



平成27年度と28年度に、天板の面積を広くし、鉛筆が落ちないように溝を掘るなどの工夫をしました。町内の全ての小学校、中学校、高校の普通教室の天板を取り替えて、児童生徒が学習をゆとりをもって取り組めるよう、ふるさと納税を活用して行うことができました。

・補助等の支援

- えりも高校の町外通学者半額補助、えりも高校の学力調査無料とえりも町小2～中2学力調査の予算計上
- ・町民への説明責任
「教育委員会だより」全町民への配付とHP掲載

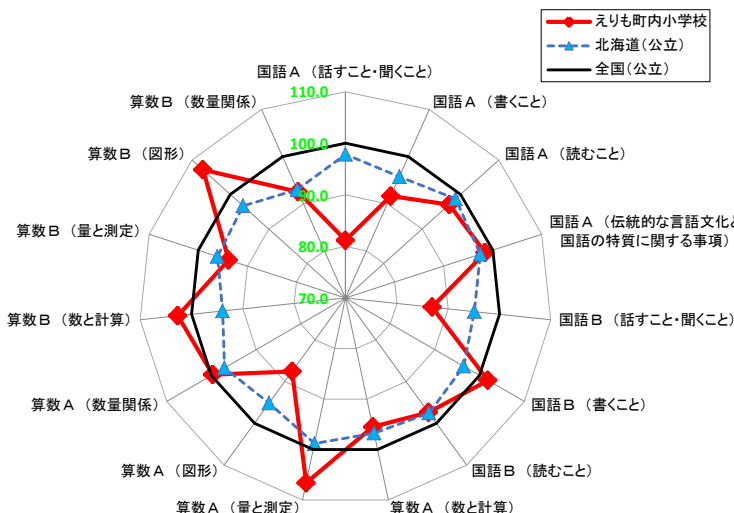
■社会教育関係

- ・運動公園トイレ新築、運動公園のランニングコース案内図設置、運動公園夜間防犯灯設置、体育館玄関サッシ改修、郷土資料館ビデオ設備改修 等

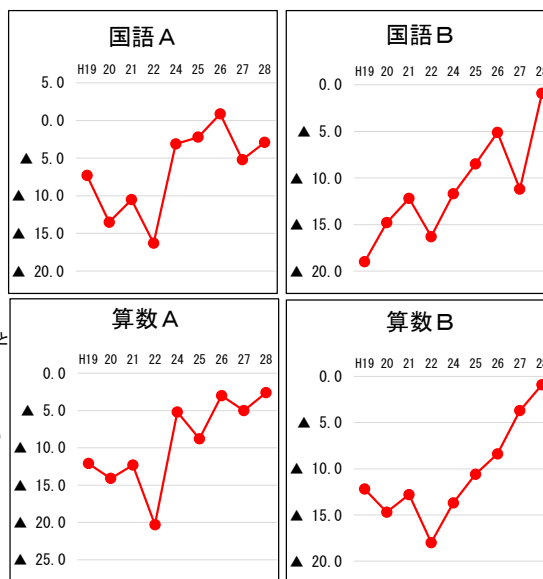
■えりも町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5、児童数:42名)

【教科全体の状況】

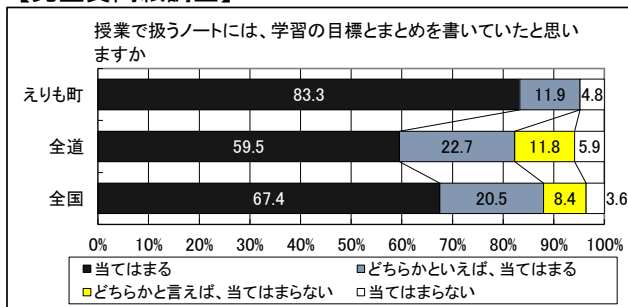
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



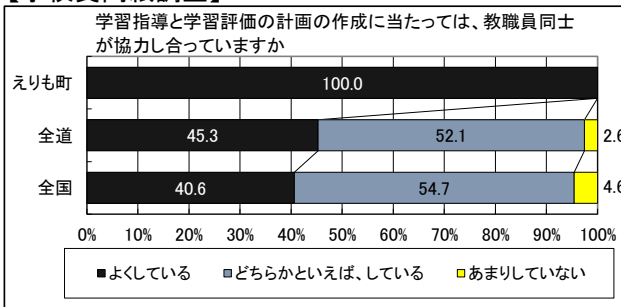
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全道を上回っている。 ○ 国語Bでは、「書くこと」で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数量関係」で、全道を上回っており、「量と測定」で、全国及び全道を上回っている。 ○ 算数Bでは、「数と計算」、「図形」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導と学習評価の計画の作成に当たって、教職員同士が協力したことにより、日常の授業改善が図られ、すべての教科で、前年度と比較して、全国との差が縮まったと考えられる。 ○ 板書とノートの連動、まとめの位置付けなど、えりも町5つの方策に組織的に取り組んだことにより、授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いていたと思う児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いていたと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ すべての学校が、「学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力している」と回答している。	

【えりも町の学力向上策】

- ◎ えりも町4つの方策(学習規律、板書とノートの連動、まとめの位置付け、研修交流)による授業改善
- ◎ 数値目標を形骸化しない日常の授業における「凡事徹底」
- ◎ 町独自による学習指導充実のための臨時採用教員の配置
- ◎ 実物投影機等ICT機器を活用した授業改善
- ◎ 小・中・高の接続・連携を意識したキャリア教育の充実